

■ 白河南工業団地の要望に対する回答

1 都市計画道路白河中央線国道289号交差点以南の整備促進と都市計画道路白河駅棚倉線（現国道294号交差点～関辺松並地内）の4車線化の早期実現について

- 国道289号につきましては、ふくしま道づくりプランにおいて、県土の骨格となり、広域的な物流・観光や救急医療輸送等を担う「基幹的な道路」に、国道294号につきましては、ふくしま道づくりプランにおいて、基幹的な道路を補完し、広域的な物流・観光と救急・地域医療などを担う「地域連携道路」に位置づけられております。
- 都市計画道路白河中央線（国道294号）及び都市計画道路白河駅棚倉線（国道289号）につきましては、事業中である国道294号白河バイパスの進捗状況や白河バイパス供用後における交通量の変化や道路の利用状況等を総合的に見極めながら、整備の必要性について検討を進めてまいります。

2 地域救急医療対策のための近隣県との広域連携体制構築について

- 県南地方（白河市等）の3次救急医療は、県中・県南の連携により、太田西ノ内病院（郡山市）を中心とした医療体制を構築しております。
- 福島県、茨城県、栃木県によるドクターヘリ広域連携等に係る協議（令和3年8月31日）では、各県ドクターヘリは自県全域を運航範囲としており、空白地帯がないことや、本県県南地方の一部（いわゆる八溝山周辺地域）からのドクターヘリ要請に対して現状でも出動できていることから、新たなドクターヘリ導入について積極的な意見は出ておりません。
- なお、栃木県との広域連携については、災害時の連携を含め引き続き検討していくこととしております。

3 工業の森・新白河A工区の早期造成について

- 「工業の森・新白河A工区」については、各種優遇制度、首都圏との近接性、多様な高速交通体系や豊富で高品質な工業用水道を備えているなどの優位性があることから、引き続き白河市と連携しながら企業誘致に取り組み、オーダーメイド方式による造成・分譲を進めてまいります。